



2020年4月24日
JR東日本 仙台支社

降雨等に対する防災対策工事および 台風19号による被災箇所の復旧状況について

JR東日本仙台支社が管轄する線区においては、降雨、河川増水等の自然災害による影響を数多く受けており、各種防災対策工事を実施しています。

また、2019年10月の台風19号では一部の線区で甚大な被害が生じましたが、被災箇所の復旧状況についてご報告します。

1. 降雨に対する防災対策工事

- ・ 豪雨等により線路沿線の「のり面^{※1}」は崩れやすくなるため、運転規制を行い事故を未然に防いでいます。また、運転中止になった場合、降り止み後に線路の点検を終了するまで運転を見合わせる場合があります。
- ・ そこで、安全・安定した輸送を確保するために、「のり面^{※1}」の補強工事を実施しています。
- ・ 仙石線では順次降雨防災対策工事を進めておりましたが、多賀城駅～東塩釜駅間までの対策工事が完了したため、2020年5月より運転中止を解消いたします。

※1：線路の沿線に構築された切土や盛土により作られた人工的な斜面



仙石線 多賀城駅～下馬駅間



仙石線 多賀城駅～下馬駅間

	対策工事を実施した線区・区間	対策工事実施年度	運転規制値の見直し内容
実施済み	東北新幹線	2002 年度	運転中止の解消
	奥羽本線（山形新幹線）	2001～2002 年度 1 期 2013～2016 年度 2 期	運転中止の解消および向上
	東北本線（岩沼駅～仙台駅）	2005 年度	運転中止の解消
	仙石線（あおば通駅～多賀城駅）	2005～2018 年度	運転中止の解消
今回実施	仙石線（多賀城駅～東塩釜駅）	2019 年度	運転中止の解消※ ²
実施予定	東北本線（仙台駅～岩切駅）	2020～2021 年度予定	運転中止の解消を予定

※2：仙石線多賀城駅～東塩釜駅間において、過去 8 年間に運転中止となった回数が 5 回だったものが、工事の完了により運転中止が解消されます。

2. 河川増水に対する防災対策工事

- ・河川内にある橋りょうは、河川増水等により橋脚の周囲の河床※³が浸食される現象（河床洗堀）が発生し、進行すると橋脚の沈下や傾斜が発生する場合があります。
- ・そのため、橋りょうの橋脚付近を防護する対策を行っています。

※3：川の流れる所の地盤



磐越東線 いわき駅～赤井駅間
（護床工・護岸工※⁴新設、2019 年度施工）



只見線 西若松駅～会津本郷駅間
（護床工※⁴新設、2015 年度施工）

※4：流水による川底や川岸の浸食を防止する目的で設置された構造物

	対策工事を実施した線区	対策工事実施年度	対策工事実施箇所数
実施済み （過去 5 年間）	東北本線、奥羽本線、磐越西線 陸羽東線、陸羽西線、磐越東線、只見線	2014～2018 年度	10 箇所
今回実施	奥羽本線、磐越東線	2019 年度	2 箇所
実施予定	東北本線、奥羽本線、磐越東線、只見線	2020～2021 年度予定	4 箇所

3. 台風 19 号による被災箇所の復旧状況

- ・ 2019 年 10 月の台風 19 号の影響により、仙台支社管内の一部の線区では運休が発生しましたが、11 月 16 日まで間にすべての線区で運転を再開しています。
- ・ 被災した箇所については復旧工事を順次進めており、2020 年 6 月末までに完了する見込みです。

復旧工事完了箇所

被災後



復旧後



磐越東線 郡山駅～舞木駅間（盛土流出）

被災後



復旧後



東北本線 安積永盛駅～須賀川駅間（盛土・バラスト流出）

復旧工事施工中箇所

被災後



施工状況

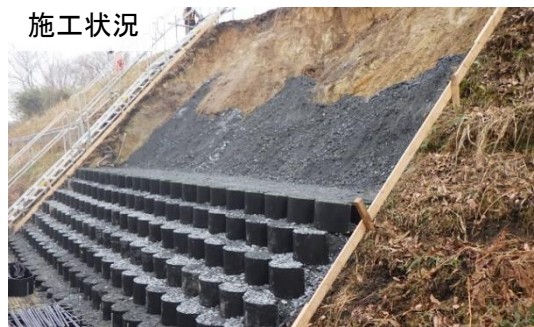


仙山線 北山駅～東北福祉大前駅間（土砂流入）

被災後



施工状況



東北本線 瀬峰駅～梅ヶ沢駅間（土砂流入）